

早期なら内視鏡で治療

病院の実力 ～茨城編 221

胃がん

今回は胃がんを取り上げる。一覧表には2025年の手術や内視鏡治療、薬物療法の実績を掲載した。国内では胃がん発症の要因とされるピロリ菌感染が減ったことで、患者数は減少傾向だ。ただ、23年には

病院の実力「胃がん」
医療機関別2025年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	全手術 (件)	腹腔鏡 (件)	ロボット支援 (件)	内視鏡治療 (件)	1次治療としての 薬物療法 (件)
茨城					
土浦協同	72	9	45	83	—
水戸赤十字	41	0	36	25	19
県立中央	36	20	1	55	20
友愛記念	30	0	0	27	10
水戸済生会総合	18	10	0	20	20
筑波学園	9	5	0	11	1
牛久愛和総合	7	0	0	6	5
つくばセントラル	5	0	0	7	0
千葉					
国立がん研究セ東	202	77	124	320	162
県がんセ	96	41	39	234	60
君津中央	65	10	30	106	—
亀田総合	60	31	15	131	13
順天堂大浦安	57	13	44	67	25
国保旭中央	53	2	39	141	36
船橋市立医療セ	46	26	10	60	30
日本医大千葉北総	46	16	22	88	—
新東京	41	8	32	87	9
千葉大	39	21	6	161	20
千葉労災	39	16	7	58	15
慈恵医大柏	38	22	12	45	27
成田赤十字	36	22	0	72	36
東邦大佐倉	34	6	24	42	6
松戸市立総合医療セ	28	11	14	37	12
国際医療福祉大成田	28	10	17	27	31
千葉西総合	24	6	18	59	31
おおたかの森	22	3	0	29	4
聖隷佐倉市民	20	12	0	10	1
東京女子医大八千代医療セ	14	8	4	0	0
新松戸中央総合	14	4	0	48	—
千葉中央メディカルセ	7	6	0	34	0
栃木					
独協医大	72	24	45	144	44
自治医大	55	39	14	150	46
済生会宇都宮	47	27	9	78	50
那須赤十字	27	8	3	20	6
県立がんセ	25	0	23	56	—
宇都宮記念	20	13	0	41	0
佐野厚生総合	19	8	0	41	—
とちぎメディカルセしもつが	7	1	0	24	11
JCHOうつのみや	1	1	0	18	0

約10万5000人が胃がん
と診断され、がんの臓器別
では大腸、肺に次いで3番
目に新規患者が多い。

胃がんは進行するにつれ
て、がん細胞が胃壁の表面
から深い層へと広がってい
く。初期は自覚症状がほと
んどないため、定期的に検
査を受けて早期発見するこ
とが重要だ。

がんが胃壁内側の粘膜層
にとどまる早期の段階で
は、外科的な手術を必要と
しない内視鏡治療が選択肢
となる。特殊なメスを使っ
てがんを切除する内視鏡的
粘膜下層剥離術(ESD)
が主流だ。

がんが進行して内視鏡治
療の対象外となり、他の臓
器に転移していなければ手
術を行う。今回は、代表
的な「全摘」「幽門側胃切
除」「幽門保存胃切除」「噴
門側胃切除」の4種類の手
術件数を聞き、全手術で
はその合計を掲載してい
る。

転移などが見つかれば、手
術でがんを取り切れないと
判断された場合は、抗がん
剤などによる薬物療法が実
施される。薬の効き具合や
副作用を確認しながら治療
は段階的に進んでいくが、

今回は最初の「1次治療」
の件数を尋ねた。
内視鏡治療、手術、薬物
療法のいずれにおいても、
治療実績が豊富な医療機関
で診てもらうことで、より
正確な治療を受けられる可
能性が高まる。

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明